

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2000-290307(P2000-290307A)
 【公開日】平成 12 年 10 月 17 日 (2000.10.17)
 【出願番号】特願 2000-91073(P2000-91073)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 F 2/18
 C 0 8 F 2/26
 C 0 8 F 4/00
 C 0 8 F 4/40
 C 0 8 F 14/06
 C 0 8 F 259/04
 C 0 8 J 9/10
 C 0 8 L 27/06
 C 0 8 L 51/06

【F I】

C 0 8 F 2/18
 C 0 8 F 2/26 Z
 C 0 8 F 4/00
 C 0 8 F 4/40
 C 0 8 F 14/06
 C 0 8 F 259/04
 C 0 8 J 9/10 C E V
 C 0 8 L 27/06
 C 0 8 L 51/06

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 24 日 (2004.8.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粒子中に少なくとも一種の有機溶媒に可溶な有機溶媒可溶開始剤を含む第 1 の種ポリマー (P 1) と、粒子の平均粒径が第 1 の種ポリマー (P 1) の平均粒径よりも小さい第 2 の種ポリマー (P 2) と、水と、アニオン乳化剤と、可溶性金属塩と、還元剤との存在下で、金属塩 / 有機溶媒可溶開始剤のモル比を 0.09 以下にして、対応するモノマーをマイクロ懸濁液重合させ、その際に重合反応を少なくとも一種の水溶性開始剤の存在下で行って、平均粒径がそれぞれ 0.9 ~ 1.3 μ m および 0.15 ~ 0.3 μ m で、平均粒径が大きい方の粒子群に対する平均粒径が小さい方の粒子群の重量比が 0.4 ~ 0.7 となる 2 つの粒子分布群を含む塩化ビニルのホモポリマーまたはコポリマーのラテックスを製造する方法。

【請求項 2】

水溶性開始剤が過硫酸アンモニウムである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

第 1 種ポリマーに対する第 2 の種ポリマーの重量比を 0.7 ~ 1.8 にする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

還元剤がアスコルビン酸またはアルカリ金属のメタ重亜硫酸塩である請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のラテックスをベースにしたプラスチック。

【請求項 6】

優れた気泡品質を有する請求項 5 に記載のプラスチックをベースにしたフォーム。